

しゅうしょくましん

修飾麻疹とは？

- ・ 麻疹に対する免疫が十分ではない人が麻疹ウイルスの曝露を受けると、麻疹を発症しても、**軽い麻疹**で終わる場合があります。
- ・ 通常の麻疹では、高熱、咳、鼻水、目の充血、目やに、コプリック斑、全身の発疹、その後色素沈着を残して治っていきますが、これらが**すべてそろわない**場合が多く認められます。
 - 高熱が出ない、発熱期間が短い、コプリック斑がない、発疹が全身に出現せず手足だけ、色素沈着を残さない等、通常の経過より軽い麻疹といえます。
- ・ 典型的な症状を示す場合に比べて、周りへの感染力は弱いものの、**感染源となります**。

保育園・幼稚園・学校等での 麻疹患者発生時の対応マニュアルより一部抜粋

茨城県竜ヶ崎保健所作成
国立感染症研究所感染症情報センター監修

発症者が出る前に予防接種歴、罹患歴調査実施(母子手帳で確認)

未接種未罹患がわかった時点ですぐにワクチン勧奨

麻疹患者発生1名の時点で、直ちに対応を開始する

麻疹患者が発生した場合、

毎朝検温して、37.5℃以上はお休みする。小児も成人も。

未接種未罹患には大至急ワクチンを勧奨

学年行事、全校行事は延期する

医療機関を受診する時は、必ず校内あるいは園内で麻疹

患者が発生していることを伝えてから行く

待合室で何も伝えずに待たないようにする

解熱後3日を経過するまで出席停止は厳守する